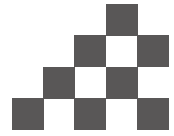


# 令和2年度会務・会計報告



## 日本弁理士クラブ 幹事長報告

令和2年度日本弁理士クラブ幹事長

羽 鳥 亘

### 1. はじめに

令和2年度は、日本弁理士クラブ（以下「日弁」）が推薦した清水善廣会長の2年目集大成の年であり、日弁幹事会としては、日本弁理士会の円滑な活動に寄与するべく、日本弁理士会執行部の積極的バックアップに努めてまいりました。また、本会の会務運営に際しましては、西日本弁理士クラブの皆様及び弁理士連合クラブの皆様にも多大なるご協力をいただきましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

### 2. 日本弁理士会の会務運営サポート

(1) 日本弁理士クラブの重要な責務の一つとして、日本弁理士会の活動に対して多くの政策提言を行うとともに、日本弁理士会の会務運営へ協力を行う事があり、本年度も多くの政策提言・会務協力を行いました。

日本弁理士会には、地域会、付属機関、委員会、WG等、様々な組織が存在し、各々の目的に則った活動を行っておりますが、それらの組織は、多くの会員のボランティアによって運営されております。

本年度も、日弁から、これらの各種組織に多数の優れた人材を途切れることなる推薦し、日本弁理士会の会務運営への全面的協力を行いました。

(2) 本年度は、4月7日に出された新型コロナウイルス感染拡大に伴う政府の緊急事態宣言を受けて、日本弁理士会の各種事業が大幅に変更になり、これを受けて4月10日付で、日本弁理士クラブ全会員に向けて日本弁理士クラブ幹事長名で、会員の感染拡大を防ぐとともに、各会員の安全に最大限配慮するた

めに、本年度予定行事の大幅縮小、各種会議のWeb会議形式への変更等を行いました。

### 3. 日本弁理士会役員選挙

本年度は、平成3年度の会長、副会長、常議員、監事に関する選挙が行われた年度であり、協議委員会（選挙対策委員会）において、上記各選挙において日弁からの立候補者全員が当選するように綿密な計画を立て、遂行して頂き、お陰様で、上記各選挙において日弁推薦候補全員当選を果たすことができました。

改めて、選挙に至る過程における関係者のご尽力に感謝申し上げます。

本年度は、平成3年度会長選挙に関して、西日本弁理士クラブ（上羽秀敏幹事長）、弁理士連合クラブ（吉村俊一幹事長）から、日本弁理士クラブが推薦する候補者を共同推薦して頂きました。

今後とも、西日本弁理士クラブ、弁理士連合クラブとは相互に連絡を密に取り合い意思疎通を図って行って頂きたいと思っております。

### 4. 委員会活動

日弁内の委員会では、以下の事項を主として一年間の活動を行いました。

#### 1. 政策委員会

- ①日本弁理士クラブの各種規約の精査及び改訂（規約委員会と共同）
- ②日本弁理士会又は日本弁理士クラブ幹事会からの検討依頼事項への対応
- ③日本弁理士会執行役員会への政策的サポート（事業計画、総会議案等）
- ④知的財産制度、弁理士制度、弁理士の業務環境改善（弁理士法に規定されていない業務への進出を含む）についての検討  
（項目①は、日本弁理士クラブ会則運用基準の改訂）

#### 2. 協議委員会

①令和3年度日本弁理士会役員定時選挙への対応

### 3. 規約委員会

①日本弁理士クラブの各種規約の精査及び改訂（政策委員会と共同）

（項目①は、日本弁理士クラブ会則運用基準の改訂）

### 4. 研修委員会

①日本弁理士会認定外部機関としての研修の企画・立案・実行

②前項以外の研修の企画・立案・実行

③特定侵害訴訟代理業務試験対策研修会の実施

（集合研修は新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催せず）

（特定侵害訴訟代理業務試験対策通信講座を販売）

### 5. 会報委員会

①会報の企画・制作・発行

②広報委員会との連携（会報のHP掲載、その他の情報共有）

### 6. 広報委員会

①日弁ホームページの管理・更新

②会報委員会との連携（会報のHP掲載、その他の情報共有）

## 5. 行事

令和2年度の日弁行事は下記の通りです。

1. テニス大会 令和2年2月1日  
品川プリンスコート
2. 旅行会 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
3. ゴルフ大会 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
4. 研修会  
「進歩性判断に対する戦略的アプローチ」(Zoom開催、令和2年12月11日)
5. 5派リレーマラソン大会 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
6. 役員選挙当選祝賀会 令和2年11月26日
7. ボーリング大会 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
8. 各会派への日弁幹事長Web訪問（5会派にWeb会議形式で訪問、各会派若手会員からの意見・提案

聴取）

稲門弁理士クラブ・無名会（7月27日・23名参加）、南甲弁理士クラブ（7月29日・15名参加）、PA会（7月30日・16名参加）、春秋会（8月7日・15名参加）。

## 6. 最後に

令和2年度の日弁の活動を担って頂いた幹事会メンバー及び政策委員長を以下に紹介いたします。

この幹事会メンバー、日弁委員会で活動して頂いた日弁会員の皆様に支えられ、令和2年度の幹事長として重責を果たすことができました。コロナ禍という大変な環境下でしたが、改めて、皆様のご協力に感謝致します。本当に有難うございました。

### 政策委員長

（南甲）中村 仁 先生

### 副幹事長

（無名）鶴目 朋之 先生〔庶務・総会・相談役会・協議・ゴルフ〕

（春秋）大沼 加寿子先生〔研修・慶弔〕

（PA）高橋 雅和 先生〔会計・テニス〕

（南甲）河野 生吾 先生〔政策・規約・ボーリング〕

（稲門）植田 晋一 先生〔旅行・広報・会報・マラソン〕

### 幹事

（春秋）堀内 真 先生 藤村 明彦 先生

（PA）篠田 卓宏 先生 田中 秀幸 先生

（南甲）佐藤 雄哉 先生 楠 和也 先生

（無名）齋藤 康 先生 金森 寛 先生

（稲門）大貫 敏史 先生 福森 智哉 先生

### 会計監事

（PA）鶴谷 裕二 先生

（稲門）綾木 健一郎先生

# 令和2年度 日本弁理士クラブ 政策委員会 活動報告

政策委員長 中 村 仁

## 1. 委員会の構成

担当副幹事長	河野 生吾 (南甲)
副委員長	長濱 範明 (春秋)
	林 篤史 (P A)
	須藤 大輔 (無名)
	榎本 英俊 (稲門)
	須藤 浩 (南甲)
委員	三上 敬史 (春秋)
	藤田 貴男 (春秋)
	青木 充 (P A)
	亀山 育也 (P A)
	矢崎 剛平 (無名)
	羽鳥 慎也 (無名)
	吉田 正義 (稲門)
	菅原 峻一 (稲門)
	金本 哲男 (南甲)
	石橋 良規 (南甲)

## 2. 諮問事項について

(1) 日本弁理士クラブの規約の中の「日本弁理士会委員等推薦基準」の見直しについての検討、および必要がある場合には改訂（規約委員会と合同）

(2) 「日本弁理士クラブ会則」の「第9条（総会）」について、ウェブなどを利用した総会の開催を可能とするための改訂（規約委員会と合同）

## 3. 活動報告

令和2年度は2年に一度の会長選挙の年なので、政策委員会としては、日弁からの会長立候補予定者の政策の検討を中心として活動しました。以下にご報告いたします。

なお、諮問 (1) 及び (2) については、規約委員会と合同でメール会議などで検討し答申書を提出いたしました。こちらの報告については、規約委員会の報告を参照ください。

### (1) 委員会開催

#### ① 第1回政策委員会 (4月10日)

羽鳥幹事長より諮問事項などの説明があり、その後、諮問事項 (1) について、規約委員会と合同で検討を行った。

#### ② メール会議 (5月16日から)

会長立候補予定者の政策案について、委員会内で意見聴取を行い、複数の意見をいただいた。

#### ③ 第2回政策委員会 (6月15日)

②での意見に基づいて、会長立候補予定者の政策案について議論を行った。

コロナ対策、テレワークを含むICT化、地域対策など様々な意見や提案が出た。

その後、稲門で政策説明資料を修正し、委員会内においてメールで検討し、政策説明資料を仕上げた。

## 4. おわりに

令和2年度政策委員会の独自の活動としては、会長選のための政策検討を行った。無事に日弁からの会長候補者が当選し安堵しています。

最後に、積極的に議論していただいた委員会メンバーにお礼を申し上げます。



## 令和2年度 日弁協議委員会（後期） 報告

委員長 高橋 英樹

令和2年1月30日～4月27日にかけて、筒井大和委員長の下、計4回の協議委員会（前記）が開催され、稲門弁理士クラブから推薦された杉村純子会員が、令和3年度の日本弁理士会会長候補として決定されました。

令和2年5月27日に開催された第1回協議委員会（後期）にて筒井委員長から委員長を引き継いだ後の活動につき報告致します。

### 1. 委員会の構成

委員長	高橋 英樹（稲門）
副委員長	堀籠 佳典（P A）
	出野 知（春秋）
	金本 哲男（南甲）
	中 大介（無名）
	市川 ルミ（稲門）：5～7月
	西村 公芳（稲門）：7～11月
委員	宗像 孝志（P A）
	本田 敬子（P A）
	平山 淳（春秋）
	徳本 浩一（春秋）
	須藤 浩（南甲）
	松田 次郎（南甲）
	前田 健一（無名）
	稲木 次之（稲門）
	角田 朗（稲門）
	西村 公芳（稲門）：5～7月
	大貫 敏史（稲門）：7月～8月
	藤坂 恭史（稲門）：8月～11月

稲門弁理士クラブの市川副委員長が副会長候補となったことに伴い、副委員長、委員に交代が生じました。

### 2. 委員会開催状況

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、様々な行動や活動に制限が課されました。4月から5月にかけて発令された第一次緊急事態宣言を受けて、下記の通り、殆どの委員会はWeb経由での開催となりました。

#### (1) 協議委員会（後期）

- 第1回5月27日（水）Web
- 第2回6月29日（月）Web
- 第3回7月20日（月）Web
- 第4回8月18日（火）Web
- 第5回8月28日（金）Web

#### (2) 選挙対策委員会

- 第1回9月 4日（金）Web
- 第2回9月 9日（水）商工会館
- 第3回9月18日（金）Web

### 3. 当選祝賀会

11月26日（木）TKPガーデンシティ PREMIUM 品川

関係各所からの来賓もお迎えして、リアルに、かつ華やかに開催。

### 4. 審議経過および選挙について

#### （会長に関する経緯）

後期の協議委員会の活動は、会長選挙はもとより、場合によってはフルラインナップでの選挙もあり得るとの予測の下で始動しました。「日弁候補者全員当選」の方針の下、まずは、会長戦の基礎固めに注力しました。

6月から7月にかけて、西日本弁理士クラブ様、弁理士連合クラブ様、東海協議会様の夫々に対して、リアル、ハイブリッド、Webの手法で、杉村会長候補者の熱意ある政策プレゼンテーションを提供しました。例年であれば、旅行会等の機会を利用した意見交換も可能ですが、本年は、全会派で旅行会は中止。直接のコミュニケーションが極めて困難な状況下で、貴重な機会を捉えて様々な意見を交換し、課題が共有できるよう努めました。その結果、各派の賛同を得ることができ、比較的早い段階で幅広い

共同推薦の流れを作ることができました。

直接のコミュニケーションが難しい中、旅行会に代わる方法で日弁所属会員との交流を図るべく、日弁幹事会主導で五会派への政策説明会を進めて頂きました。並行して、Web動画を媒体とする会長候補者によるセミナー配信を実施する等、候補者の知名度向上のための活動を継続しました。

このような背景の下、幸いにして、会長については選挙を回避することができ、杉村会長候補者が無投票による当選を果たされました。

(常議員選挙、監事選挙に関する経緯)

常議員、監事については、当初、夫々1名または2名の定員オーバーがあり得るとの状況判断をしていました。状況が整理されるに連れて、監事については定員通り、常議員については1名オーバーの可能性が高いと予測が変化し、立候補の届出はその予測の通りになされました。

これにより、監事候補者については全員が無投票での当選を果たされました。一方、常議員については、春秋会から立候補届けの撤回があり、日弁が推薦する他の候補者全員が、やはり無投票での当選を果たされました。

(副会長に関する経緯)

副会長については、最大4名の定員オーバーが生ずるかもしれない、という状況分析から始まりました。最終的には、当時の予測通り1名の定員オーバー

にて選挙に突入しました。日弁からは五人の副会長候補者を擁立しており、届出の撤回はせず「日弁候補者全員当選」を目指して選挙を戦う肢を選択しました。五人の副会長候補を擁立したまま選挙戦を戦うというのは、実のところ日弁として初めての経験でした。

何といっても五会派夫々の努力、候補者ご本人の努力の結果であったと思います。無事に五人全員の当選を果たすことができました。来る杉村執行部にとって最善の陣容を組むことができ、素晴らしい結果に安堵しました。

(総括)

コロナ禍の選挙戦。定番の「電話」は、在宅勤務者に辿り着くことが難しく、候補者、支援者共に大変な苦労をされたことと思います。委員会においても、あまり評判の良くなかった初回のWeb飲みを別とすれば、一度たりとも飲みにケーションは無し。議論そのものも、当時はまだそれほど慣れていなかったZoom経由のみ。なかなか厳しい状況ではありましたが、最善の結果が得られて何よりでした。この素晴らしい結果が得られたことに、羽鳥亘日弁幹事長を始めとする日弁幹事各位、協議委員会委員各位、会派夫々および関係各所にてご支援くださった会員各位に、当委員会委員長として改めてお礼を申し上げます。

# 令和2年度 日本弁理士クラブ 研修委員会報告

研修委員長 榛 葉 貴 宏

令和2年度研修委員会につきまして、以下の通りご報告いたします。

## 1. 開催回数

研修委員会 2回

研修会 2回

## 2. 委員会の構成

委員長	榛葉 貴宏 (春秋)
担当副幹事長	大沼 加寿子 (春秋)
委員	三田 康成 (春秋)
	栗原 弘 (春秋)
	長谷川 綱樹 (P A)
	寺尾 康典 (稲門)
	森田 義則 (稲門)
	真能 清志 (P A)
	林 司 (無名)
	浅見 浩二 (南甲)
	丸山 陽 (南甲)
	武居 芳樹 (無名)

## 3. 研修内容

### (1) 特定侵害訴訟代理業務試験対策研修

年々受験者数が減少していますが、まだ、特定侵害訴訟代理業務試験の対策講座として開催ニーズがあり、昨年度に時点で、本年度も本講座を開催することを決定していました。

しかしながら、昨今のコロナ禍の状況で、集合研修が難しい状況であることに鑑み、集合研修は開催せずに、通信講座のみの対応とさせていただきました。例年、通信講座は、その年の集合研修の内容と、過去の集合研修の内容を、解説書と音声データとのセットとして提供しているのですが、本年度分につきましては、集合研修が行えなかったために、解説

書のみを提供とさせていただきました。

### 〈過去問解析講座 (通信講座)〉

講師：弁護士・弁理士 石神巨太郎先生  
(青和特許法律事務所)

受講者数：10名

## (2) 継続研修

弁護士・弁理士の酒匂禎裕先生を講師として、「進歩性判断に対する戦略的アプローチ」と題した研修を開催しました。具体的には、医薬・化学の分野を中心に、阻害要因、顕著な効果といった典型論点の論じ方、専門家の意見書、実験データの使い方、さらには、侵害論や記載要件との関係等について有機的に関連させ多角的な分析を行った内容についてご講演いただきました。

### 〈第1回〉

日時：12月11日 (金)18:30～20:30

場所：ウェブ研修

講師：酒匂 禎裕 先生

(ICase (アイケース) 法律事務所)

内容：進歩性判断に対する戦略的アプローチ

受講者数：27名

以上

## 会報委員会報告

令和2年度会報委員長 松 田 真

令和2年度会報委員会の活動につきまして、下記の通りご報告いたします。

### 1. 委員の構成

委員長 松田 真（稲門）  
委員 中村 聡（稲門）  
山崎 晃弘（PA）  
田浦 弘達（PA）  
井上 正（春秋）  
加曾利 正典（春秋）  
源田 正宏（南甲）  
齊藤 良平（南甲）  
関 誠之（無名）  
亀山 夏樹（無名）

### 2. 活動内容

会報「日弁」第44号の発行

発行部数：全2,809部

内訳 PA会：999部

稲門弁理士クラブ：200部

春秋会：830部

南甲弁理士クラブ：430部

無名会：350部

発送 令和2年12月初旬に印刷手配を依頼し、順次各会派に発送

### 3. 会合

令和2年2月13日に開催し、編集工程の説明を行った。

令和2年6月15日にオンライン会議を開催し、第44号の台割について検討した。

以後はメールベースで、執筆依頼の分担の割り振り、進捗の共有等を随時行った。

以上

## 広報委員会報告

担当副幹事長 植 田 晋 一

令和2年の広報委員会の構成及び活動内容等について、次の通りご報告いたします。

### 1. 委員の構成

委員長 北島 健二（稲門）  
委 員 帯包 浩司（P A）  
荒木 邦夫（春秋）  
楠 和也（南甲）  
山田 勉 （無名）

### 2. 会合及び審議内容

開催日時：令和2年2月13日

場所：虎ノ門ホール

議事：

- (1) 幹事長挨拶、副幹事長挨拶、出席者紹介
- (2) 日弁広報委員会の業務の確認

### 3. 広報委員会の活動報告

ホームページの更新・維持・管理を実施しました。具体的には以下のことを行いました。

- ・ 幹事長就任挨拶&写真のホームページへの掲載
- ・ 日弁の活動報告、各種企画の紹介、写真掲載
- ・ 日弁及び各会派で主催の研修会の案内
- ・ 日弁会報の掲載

### 4. その他

昨年度から日弁メルマガが廃止された。

昨年度にホームページのシステムをリニューアルしており、新システムでの2年目の運用となった。

委員会開催は1回のみであったが、円滑な運営を行うことができた。

以上



## 令和2年度会合行事記録

令和2年度副幹事長 鶴 目 朋 之

月	総会・相談役会・行事	幹事会	委員会	その他
1月		1/14 第1回	1/30 第1回協議	
2月	2/ 1 テニス大会	2/10 第2回	2/25 第2回協議 (拡大) 2/13 委員会合同立上げ (研修、広報、会報、政策、規約)	
3月	3/26 第1回定時総会	3/ 9 第3回	3/15 第2回政策・規約 合同	
4月	4/23 第1回常任相談役会	4/ 9 第4回	4/ 7 第3回協議 (拡大) 4/22 第3回政策・規約 合同 4/27 第4回協議 (拡大)	
5月		5/11 第5回 (拡大)	5/27 第5回協議 5/28 第4回政策・規約 合同	
6月		6/ 8 第6回	6/15 第2回会報 6/29 第6回協議	
7月	7/ 3 第1回相談役会	7/13 第7回	7/11 第5回政策・規約 合同 7/20 第7回協議	7/27 各派Web訪問 7/29 各派Web訪問 7/30 各派Web訪問
8月		8/ 3 第8回	8/18 第8回協議 8/28 第9回協議 (拡大) 8/28 第2回研修	8/ 7 各派Web訪問
9月		9/14 第9回	9/ 4 第10回協議(拡大) 9/ 7 第1回選対	
10月		10/12 第10回		10/19 第1回研修 (通信講座受付)
11月	11/13 第2回相談役会 11/26 第2回定時総会 11/26 役員選挙当選祝賀会	11/ 9 第11回		
12月		12/14 第12回 12/21 幹事会引継ぎ		12/11 第2回研修 (Web開催)

## 令和2年度総会承認事項

令和2年度副幹事長 鶴目朋之

### 第1回定時総会

日時：令和2年3月26日（木）

午後5時30分～6時15分

会場：オンライン会議（Zoom）

- (1) 令和元年度日弁事業報告の承認を求める件  
河野生吾副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。
- (2) 令和元年度日弁決算報告の承認を求める件  
高橋雅和副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。
- (3) 令和2年度日弁事業計画の承認を求める件  
羽鳥亘幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。
- (4) 令和2年度日弁予算の承認を求める件  
羽鳥亘幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。
- (5) 令和2年度日弁予算の予備費の取り崩しに関し幹事会への一任についての承認を求める件  
高橋雅和副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。
- (6) 令和3年度日本弁理士会（関東会を含む）役員推薦に関し幹事会への一任についての承認を求める件  
羽鳥亘幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

### 第2回定時総会

日時：令和2年11月26日（水）

午後5時40分～6時15分

会場：TKPガーデンシティ PREMIUM品川

- (1) 令和3年度日本弁理士クラブ幹事長選任の承認を求める件  
中村仁会員を選任することについて、賛成多数により承認された。
- (2) 令和3年度日本弁理士クラブ政策委員長選任の承認を求める件  
木戸良彦会員を選任することについて、賛成多数により承認された。
- (3) 令和3年度日本弁理士クラブ副幹事長・幹事・会計監事選任に関し幹事会への一任の承認を求める件  
羽鳥亘幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。
- (4) 日本弁理士クラブ規約改定の件  
河野生吾副幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

以上

## 令和2年度 最終会計報告

令和2年度会計担当副幹事長 高橋 雅和

令和3年度第1回日弁総会において、令和2年度会計報告が承認されましたので、以下にご報告させていただきます。

令和2年度はコロナ蔓延により、殆どの企画が中止を余儀なくされ、また会合も殆どが実会場ではなくweb会議となりました。

このため、例年に比べ支出が減少し、減少傾向にあった繰越金が結果的に増加するに至りました。弁理士会の投票選挙が行われる年が増えていく可能性がある中、これら資金の有効活用はより重要になると思われまます。皆様のご理解に感謝申し上げますと共に、引き続きご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

(単位：円)

収入の部	実績額	予算額
前年会計からの繰越金	3,649,127	3,649,127
各クラブ分担金	2,500,000	2,500,000
利息	36	14
H31年度協議・選対委員会より入金	2,141,335	2,141,335
2019年活動準備費(前年より)	0	0
その他	-	-
合計	8,290,498	8,290,476

支出の部	実績額	予算額
例会・総会	50,000	50,000
幹事会	195,785	300,000
会報委員会	588,000	1,000,000
協議・選対委員会	1,128,766	3,000,000
政策委員会	0	150,000
規約委員会	0	50,000
広報委員会	36,850	100,000
研修委員会	-127,242	200,000
日弁五派交流事業費	0	400,000
相談役会	2,268	30,000
旅行会	0	0
旅行会ゴルフ大会補助	0	0
ボウリング大会補助	0	50,000
テニス大会補助	0	50,000
リレーマラソン補助	0	50,000
庶務	4,720	30,000
慶弔費	83,090	150,000
渉外・交通	0	500,000
幹事長渉外費	157,620	200,000
P G/WG活動費	0	0
次年度活動準備費	100,000	100,000
予備費	0	1,880,476
合計	2,219,857	8,290,476
収入-支出(次年度繰越金)	6,070,641	
預金残高(2021/01/13)	6,070,641	